

令和 5 年度 事業報告書

特定非営利活動法人 くすの木自然館

1. 事業の方針

コロナ禍が明け、人の往来も多くなることを念頭に、どのような人でも利用しやすくするため、「重富海岸」及び自主事業をユニバーサルデザイン化した。ハードを変えることは多くの時間と資金が必要のため、まずはそこにかかわる人の研修をおこなった。重富海岸に付加価値を足していくことには成功したが、関係人口を増やし、ツアーの集客につなげることはつながらなかった。出水・小浜など新たに声をかけていただいている拠点で仕事をしていける体制はつくることができなかった。

【主な活動】

- 「重富海岸自然ふれあい館 なぎさミュージアム」委託管理
国立公園重要園地「重富海岸」に建設された「展示施設」の委託管理運営の事業。
過去最多来館者となり、年間 17,000 人を突破した。年々、来館者は増えている。
- 鹿児島県共生・協働センター運営委託事業
テンラボ、及び鹿児島県と共に行う「鹿児島県共生・協働センター」の運営委託管理事業。
- 海の学びミュージアムサポート助成 ユニバーサルビーチ構築事業
どのような人でも重富海岸で「海の学び」としての体験学習ができる体制を構築する。重富海岸にユニバーサルビーチとしての付加価値をつけた。
- 4 園館合同企画 子ども環境フォーラム
「かごしま水族館」「平川動物公園」「かごしま環境未来館」と共に、一つのテーマで特別展や講座を行う。鹿児島市の子ども環境フォーラムの予算をえて、全体統括として実施した。
- ESD 活動拠点と行う体験型環境教育推進事業
鹿児島県の事業。始良・伊佐地区と南薩地区にて、二つの小学校に持続可能な社会づくりを行う子供たちを育成することを目的に行う環境教育事業。
- 企業と連携して行う自然体験事業
トヨタソーシャルフェス、甲突川リバーフェスなど、本年度も実施した。
- 桜島・錦江湾ジオパーク編成における事務局との様々な協力
ジオパーク 10 周年企画を受けて、始良市ならではのジオパークの魅力を伝えていった。
- セブンの海の森 連携協定事業
「環境省」「始良市」「セブンイレブン記念財団」「くすの木自然館」の 4 者連携し、重富海岸を国立公園及び錦江湾での干潟・藻場再生の拠点として付加価値をつける。セブンイレブン記念財団がスポンサー。令和 5 年度は始良市以外の 3 者で行ったが、今後は始良市とも連携できる体制を構築する。
- ツル観察センター「夏場の利用促進」事業
出水市のツル観察センターを、「湿地」としてのすばらしさを伝えるためのビジターセンターにしていくため、「夏場」の利用促進を進めるための事業を実施。
- 自然大満喫ツアー（主催）
4 月より料金改定を行い、一般・社会教育・学校教育で金額を分けた。新規料金体制をしってもらい、利用してくれる人が増えるように、広報・集客に力を入れることができなかった。
- 講座、物販（主催）
昨年目標金額より 10%増の売り上げ目標を掲げ、買い物を通して持続可能な社会を目指すことができるショップとしたが、年間売り上げは微減だった。